

スポーツは人を育て、地域を元気にする

中村和雄氏特別講演会

日本プロバスケットボールリーグ（bjリーグ）秋田ノーザンハピネッツの前ヘッドコーチで、現在、秋田県体育協会ゼネラルアドバイザーを務める中村和雄氏の講演会「仙北市体育協会主催」が3月29日、角館榊細工伝承館で開催されました。中村氏は、「チームづくりと地域づくりは似ている」との持論を展開し、チームプレーにおける自分の役割や選手とその家族への接し方など、幅広く興味深い話題で、会場を大いに楽しませました。



角館町出身の田口成浩選手については「素直な心をもった選手」。選手には、「厳しくもするが褒めることが大事」と話す中村氏。

だしのこ園、神代こども園が4月から一新

幼保連携型認定こども園スタート

4月1日、だしのこ園と神代こども園が、仙北市第1号の幼保連携型認定こども園としてスタートしました。4月6日に行われただしのこ園の開園式・入園式には、たくさんの方々が参加してお祝いしました。入園式では、名前を呼ばれた園児たちが、元気に「はい」と返事をしていました。4月7日には、神代こども園でも開園式・入園式が行われ、両園とも新しい体制となりまして、今後が楽しみです。



幼保連携型認定こども園となった「だしのこ園」の開園式。記念のテープカットが行われました。

角館温泉「花葉館」

入湯者数200万人達成

3月21日、角館温泉「花葉館」（角館町西長野・高橋義男代表取締役）の温泉入湯者数が200万人を達成しました。記念すべき200万人目となったのは、家族で訪れたという大仙市の鈴木正喜さん。鈴木さんには、お祝いの花束と記念品の「花葉館ペア宿泊券」が贈られました。思わずサプライズに笑顔を見せた鈴木さんは、「天気が良かったので、ふらっと立ち寄ってみたい」と話していました。



「突然のことでびっくりした」と話す鈴木さん。花葉館の入湯者200万人は平成8年にオープンして19年目で達成。

第4回仙北市バスケットボール大会

12チームが熱戦展開

3月29日、仙北市バスケットボール大会が角館中学校体育館を会場に開催され、47年大会が12チームの頂点に輝きました。3チームずつが4つのブロックに分かれ予選を行った後、各リーグの1位が決勝トーナメントに進みました。決勝では、47年大会とBK46が対戦し、一進一退の攻防戦を制した47年大会が見事優勝しました。試合結果については、次のとおりです。【優勝】47年大会 O A、ウエストモンキーズ



参加した各チームのスピードあふれるプレーに、会場は熱い応援に包まれました。

仙北市の花まつり

桧木内川堤のソメイヨシノに角館武家屋敷のシダレザクラ、刺巻湿原のミズバショウ、西木町八津・鎌足のかたくり、と仙北市の春を象徴する3つの花がいよいよ開花を迎えます！春の訪れを告げるとともに色鮮やかに咲く花々が私たちの目を楽しませてくれます。

角館の桜まつり

4月20日（月）～5月5日（火・祝）

桧木内川堤には2キロメートルにわたってソメイヨシノが咲き誇ります。武家屋敷等には、樹齢300年以上の古木や、国の天然記念物に指定されている162本のシダレザクラがあります。期間中は桜のライトアップや各種イベントが行われ、祭りに華を添えます。

問 角館の観光行事実行委員会（仙北市観光課内）
☎ 43-3352
仙北市観光情報センター「角館駅前蔵」 ☎ 54-2700



刺巻水ばしょう祭り

4月11日（土）～5月6日（水・祝）

国道46号沿いの広さ約3ヘクタールの刺巻湿原にミズバショウやザゼンソウが一面に咲き誇ります。国道や線路沿いでこれほどの群生地は珍しいです。清らかな水面とミズバショウの乳白色のハーモニーは訪れる人々に癒しを与えてくれます。

問 仙北市田沢湖観光情報センター「フォレイク」
☎ 43-2111



かたくり群生の郷開園

4月18日（土）～5月3日（日・祝）

西木町の特産品である西明寺栗の栗園に、密度・規模ともに日本最大級の薄紫色の可憐なかたくりの花が群生しています。また、4月上旬には福寿草の花も群生し、さまざまな山野草が楽しめます。

問 かたくり群生の郷保存会 ☎ 47-3535

